



国民春闘共闘

第 18 号

2017 年 3 月 24 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

トヨタ総行動

トヨタに社会的責任を求める

トヨタに社会的責任を求める「第 38 回トヨタ総行動」が 20 日、豊田市で行なわれ 500 人が集まりました。県内各地で早朝宣伝をし、午後は決起集会後「トヨタは内部留保を活用しろ」「過労死をなくせ」とトヨタ本社にデモ行進。今年の総行動は大手企業の回答日直後であり、トヨタ自動車が 3000 円の要求に対し、1300 円の低額回答を出した中での集会でした。

内部留保を地域、労働者、下請けに活用しろ！

主催者あいさつに立った樽松佐一実行委員長は、「愛知は自動車関連の企業が多く、トヨタの賃上げ



は県内すべての労働者に直結する。中小下請の単価改善と公害患者の救済、すべての労働者の賃上げなど、世界の大手企業トヨタに社会的責任を求めてとりくむ行動の成功に奮闘しよう」とあいさつ。続いて全労連の小田川義和議長は、「1 兆 8000 億の営業利益が予想される中、賃金抑制と過酷な働かされ方、雇用の破壊、下請いじめという 4 点セットで内部留保をためこんでいる。株主配当や経営者報酬には配分をまわすが、富の偏在を質すことがない。

これがトヨタの姿勢。改めるように迫っていきたい。大企業の利益の最大化を成長戦略と言い、戦争する国づくりに暴走する安倍内閣の退陣も求め、労働者のくらしと雇用、権利を守る政治への転換をめざして 17 春闘を意気高くたたかっていく」と連帯のあいさつを述べました。情勢報告とこの間のとりくみについて、知崎事務局長からトヨタ本社やグループ企業へ要請した中身や春闘の回答結果、安倍「働き方改革」の問題点などを報告。最後に「8 時間働いてまともに暮らせる賃金を勝ち取ろう」と話しました。

続いて JMITU 豊田加茂地域分会ニツパツ班のサウロさんからは 4 人の雇い止め裁判の支援について訴え、副委員長の平田さんが「労契法 18 条を前に雇い止めが三河地域に広がっている。トヨタの人を人と思わない働かせ方を許さない。トヨタの下請であるニツパツの裁判とあわせ、たたかいをすすめたい」

と発言。愛商連副会長の服部さんは、「業者の大変な状態を変えていきたい。労働者の皆さん、大幅な賃上げを獲得して業者でお金を使って下さい」と訴え。トヨタの二次下請で働いていた夫の突然死を過労死と名古屋高裁で逆転勝訴を勝ち取った三輪さんが発言。「夫は過重労働で疲労困ぱいしていた。仕事のせいで命を奪われたのは明らか。長時間労働が続くのは間違っている。国が決めた100時間なんてとんでもない。命を削って働いてはいけない。誰もが健康で働ける世の中に国と企業が改善することを強くのぞみます」との訴えに、参加者から大きな拍手がわきました。

郵政ユニオン全国 25 職場 62 名がストライキに突入！

郵政ユニオンは3月23日早朝より、ベアゼロ、均等待遇に前進なしの回答に抗議し、局前宣伝、スト



ライキなど全国統一行動を展開しました。

本日のストライキは全国 25 職場で突入。早朝から全体で約 1,000 名の組合員、全労連や全労協、地域で共闘する仲間の支援を得て、局舎前で集会宣伝を行いました。

本社前には、150 名が結集「2年連続のベアゼロを許さない!!」と怒りを本社にぶつけました。

企業としての社会的責任を求めて、本部は、全国でのストライキ成功を背景に時給・賃金引上げゼロ、均等待遇に背を向ける社会の姿勢に対し、最後まで要求の先進に向けて取り組みます。

建交労～首都圏運輸基本集団交渉団

建交労首都圏運輸基本集団交渉第3回交渉は、3月15日(水)、17春闘最終の交渉として、東京貨物健保会館で開催しました。第1回全体交渉では、6社が賃金上積みの修正回答を提示。制度要求では、神田が育児休業中の賃金保障一律25,000円、業務上災害特別補償は、ふじが13級～14級、堀切が5級～14級、中央が死亡、1～3球、6級、8～10級を上積み、労働時間の年間休日について中央が120日との回答を引き出しました。全体交渉を終え、さらなる賃上げと制度要求の修正を求め、個別交渉に入りました。その後、2回



目の全体交渉で、浅井から賃上げの修正回答がありました。その後、組合側打合せを行い、厳しい経営環境の中、4社で賃金前年実績突破、5社で同額、制度要求での前進回答などを評価し、全体交渉で15時15分に16日午前0時からの24時間全面ストライキの解除を通知、17春闘の仮調印を行いました。

しまね～大幅賃上げ！医療・社会保障、平和を守れアピール



医労連としまね労連は、3月16日13時30分から松江生協病院ローソン前で、「国民春闘3・16 島根県集会を開きました。県医労連執行委員長の森山さんは「安心安全なサービスを提供するためにも、働きやすい職場にすることが大事。ともに力をあわせましょう」と挨拶。しまね労連議長から連帯挨拶をはじめ、各参加労組からそれぞれ春闘への決意が表明されました。

集会後は、JR松江駅までデモ行進をしました。集会には約50人が参加し、大幅賃上げをはじめ、医療・社会保障の充実、共謀罪反対！島根原発再稼働反対など市民に大きくアピールしました。

STOP暴走政治！ 守ろういのちと平和、そして憲法
賃金底上げと雇用の安定、地場産業振興で地域の活性化